

CSR活動の基本的な考え方

当社グループは、事業活動と連動したCSR（企業の社会的責任）活動で企業価値を更に向上させ、ステークホルダーの皆様とともに“満足”の共創・共有を目指しております。

【定義】

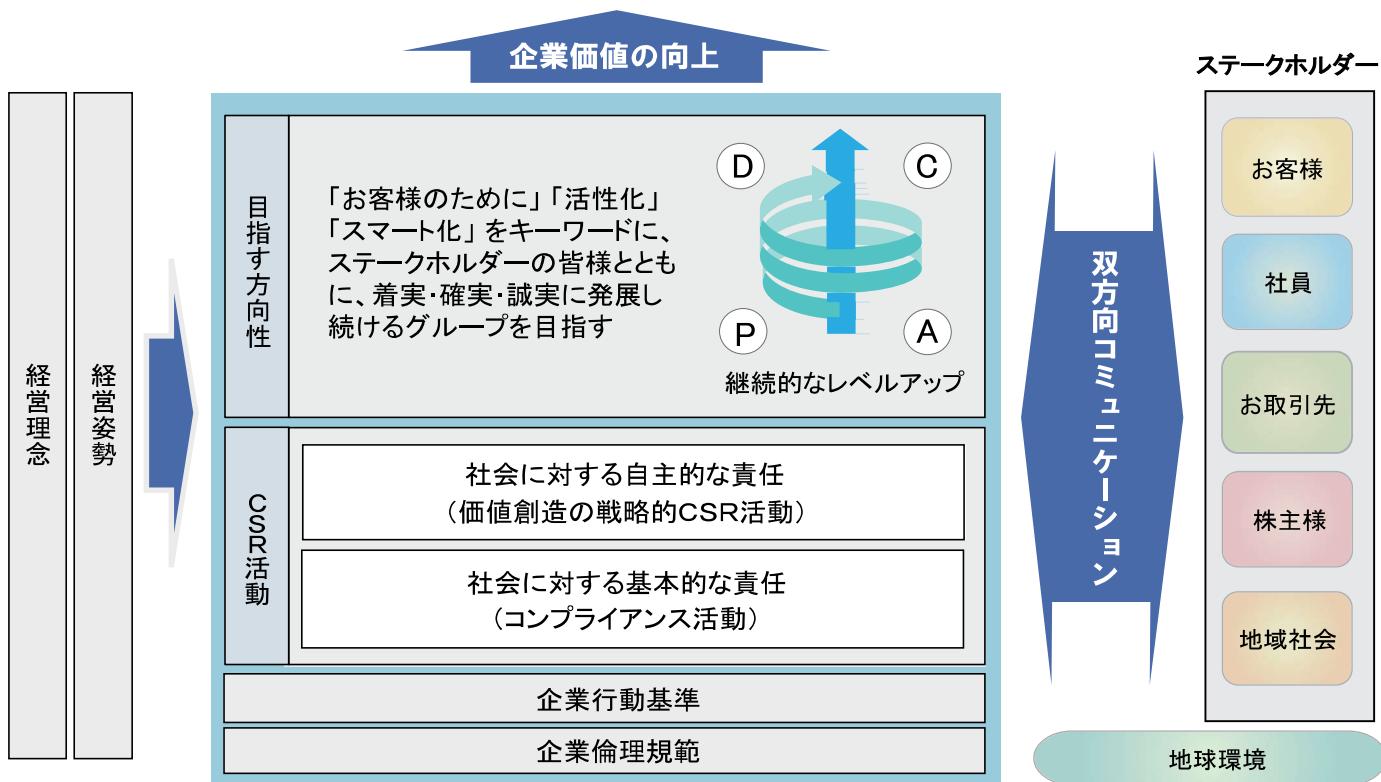
『社会・地球の持続可能な発展への貢献』のため、グループ会社・全ての社員が「経営理念」「経営姿勢」「企業倫理規範」「企業行動基準」を当社グループが大事にすべきこととして共有し、日々の事業活動の中で、愚直に地道に徹底的に実践し、ステークホルダーの皆様から信頼される企業集団を目指します。

【基本方針】（※7つのキーワード）

1. コンプライアンスの徹底
2. 安心・安全・優れたサービス、製品、商品の提供
3. 自主性、創造性に溢れた職場環境の実現
4. ステークホルダーの満足向上の実現
5. 地域社会発展への貢献
6. 地球環境保全責任の遂行
7. 文化や人権の尊重と差別の禁止

CSR活動概要

社会・地球の持続可能な発展への貢献と事業の成長





目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

ターゲット：2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。（※2020年以降も継続して本ターゲットを追求する）

基本的な考え方

私たちは、車社会に携わる一員として、交通事故撲滅に向けた企業活動を継続し、人の命と健康を守り全ての人を幸せにします。

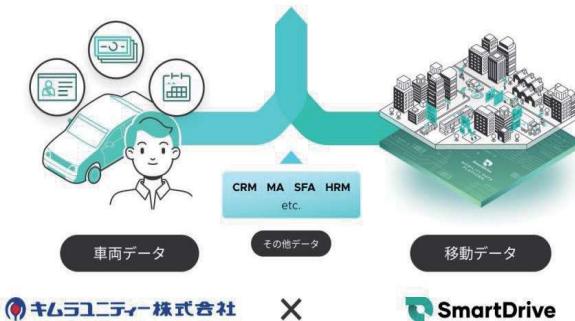
お客様のニーズにお応えするために

車両管理や安全運転の推進をトータルでサポート

トータルカーマネジメントサービスを提供する当社グループは、モビリティデータを活用したサービスを提供する株式会社スマートドライブ様とデータプラットフォーム領域での協業を開始し、新たなソリューションの開発を進めています。

この度の協業では、当社グループが提供するクラウド型車両管理システム「KIBACO」とスマートドライブ様が提供する走行データを取得・蓄積・解析する「Mobility Data Platform」とのデータ連携を行います。「KIBACO」が保有する豊富な車両情報と、「Mobility Data Platform」から得られる車両の利用状況や安全運転状況などのモビリティデータを掛け合わせることで、車両管理業務を行う企業の共通課題である業務効率化やコスト削減、安全運転の推進などの課題解決をトータルでサポートすることが可能となります。

企業の課題解決をトータルサポート



スマートドライブ様は、2013年の創業以来「移動の進化を後押しする」をコーポレートビジョンに掲げ、移動にまつわるモビリティサービスを提供しています。

「Mobility Data Platform」は、スマートドライブ様独自のデバイスに限らず、様々なデバイスから収集したモビリティデータを利活用できるサービスで、お客様の課題解決や新しいサービスの創出などにも役立てられています。

車両管理システム「KIBACO」の展開

車両管理システム「KIBACO」は、車両に関するデータベース機能だけではなくお客様がデータを活用し「安全・安心、コンプライアンス、コスト削減」を実現することをコンセプトとしています。

機能紹介



ダッシュボード

事故発生などの緊急通知の他、業務の完了通知を受信できたり、リース契約や保険契約等のアラートが表示されるので、業務の忘れがなくなります。



保険証券フォルダ

保険会社、保険代理店に関わらず、全ての保険契約を登録できるため、契約の一元管理が可能です。



安全教育

車両管理者様より配信されたeラーニング動画及び静止画をいつでも受講でき、運転者様の安全意識向上に繋がります。

※名称の由来である「木箱」は、140年前に創業したキムラユニティーの原点となる事業であり、「お客様第一」の象徴もあります。

「KIBACO」は、お客様のお困り事に対して、解決するためのいろいろな引き出しを持ったシステムにしたいという想いを込めています。



KIBACO
<https://kimura-kibaco.jp/>



目標 5：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う

ターゲット：あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。



目標 8：包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

ターゲット：2030 年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。



目標 10：各国内及び各国間の不平等を是正する

ターゲット：2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

基本的な考え方

私たちは、性別や年齢、障がいなどによらず、共に働く全ての人々に質の高い職場や教育環境を提供し、学びやスキル向上の機会をもたらし続けることを目指します。

そして、人や国の不平等を是正し、社会・経済格差の解消に取り組んでいきます。

ダイバーシティ（多様性）推進への取り組み

全ての社員の多様性・創造性を尊重し、多彩な人財が活躍できる職場づくりをめざす、ダイバーシティ（多様性）の推進に取り組んでおります。

外国人実習生の受け入れ



日本国内にて、3年間の研修・実習を通じて物流現場オペレーションを学び、当社グループ海外子会社の幹部候補生・リーダークラスを育成する、外国人実習生の受け入れを継続して進めています。

中国人実習生（11期生～19期生） 計 98名

ベトナム人実習生（2期生～6期生） 計 111名

ミャンマー人実習生（1期生） 計 6名



技能検定風景

女性の活躍促進に向けて



女性の活躍に向けて、ワーク・ライフ・バランスの推進や育児・介護をサポートする環境づくりなどの取り組みをご評価いただき、愛知県からは「あいち女性輝きカンパニー」として、また名古屋市からは「女性の活躍推進企業」としての認証をいただきました。

これからも、女性社員の働きやすさ向上への取り組みを継続的に進めると共に、定着と活躍の拡大を図ってまいります。



「あいち女性輝きカンパニー認証書」「女性の活躍推進企業認定証」

その他 取り組み事項

女性社員の働きやすさ向上



- 女性社員の働きやすさ向上への取り組みとして、社員が仕事と子育てを両立させるための企業としての施策（5年間の行動計画）を厚生労働省に提出し、アンケート調査結果などに基づく具体的な制度化案の検討に、継続して取り組んでおります。



CSR お取引先

公正な 事業慣行



目標 16：持続可能な開発のための平和で包摶的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摶的な制度を構築する
ターゲット：あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。

基本的な考え方

私たちは、法令その他の社会的規範を遵守するとともに、リスク管理の徹底や情報セキュリティーの強化に取り組み、公正で健全な企業活動を継続していきます。

お取引先の皆様と一緒にした活動

お取引先様への方針説明会の開催

物流サービス事業部門におきまして、例年はお取引先様への方針説明会を年に1度開催しておりましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、開催を見送ることいたしました。

但し、ご貢献いただきました会社様への優秀パートナー賞のお渡しにつきましては、個別に実施をさせていただいております。

コンプライアンス研修会の開催

コンプライアンス徹底への取り組みをいたしまして、お取引先様への方針説明会の開催にあわせて「外部講師による研修会」を開催しておりますが、方針説明会と同様に開催を見送りさせていただきました。

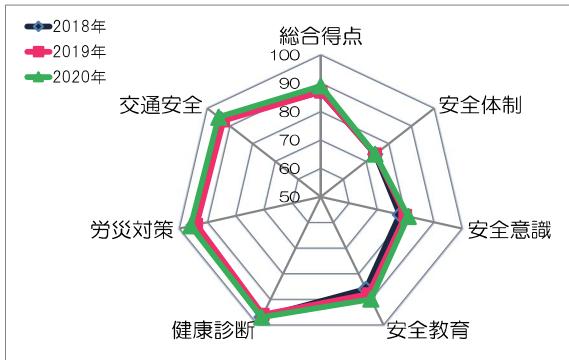
代わりとしまして、定期的に「安全・コンプライアンス」に関するご案内等を送付させていただき、情報の共有をいたしております。

お取引先様用 社外メール発信ボード

安全・コンプラ等に関するご案内文書（事例）

安全レベルの向上活動

項目別 安全レベル評価（100点満点）



お取引先様に対する「安全レベル調査」を毎年継続して実施しております。調査後、調査結果をフィードバックし、安全レベルの更なる向上にむけた支援に取り組んでおります。

2020年度は112社に対して調査を実施し、全体の平均得点は昨年度から2点アップの89点（100点満点）となり、安全レベルが向上されました。今後もレベルをアップできるよう、定期的なフォローに努めてまいります。

株主様／投資家の皆様とのコミュニケーション

I R 情報の開示

当社ホームページの投資家情報サイトでは、投資に関わる情報をタイムリーかつ正確に開示し、決算短信・有価証券報告書・財務データ・I R 資料（決算説明会資料、株主通信）などを、より見やすく分かりやすく掲載しております。

※当社ホームページが、日興アイ・アール株式会社様が行っています「2020年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」におきまして、業種別ランキングで『最優秀サイト』に3年連続で選んでいただきました。



★当社ホームページ：<https://www.kimura-unity.co.jp/>

株主総会、決算説明会の開催

証券アナリストや投資家の方々を対象に、年2回決算説明会を開催し、業績や経営方針などの説明を行っております。しかしながら、2020年度におきましては新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、開催を見送ることとなりました。個別面談などによる投資家の皆様との対話につきましては、直接お目にかかることは叶いませんが、お電話やリモートなど様々ななかたちにて、積極的に取り組ませていただいております。

2020年6月に第49回定期株主総会を開催いたしました。

今回は新型コロナウイルス感染症の流行という今までに誰も経験したことのない状況の中での開催となりました。

開催に際して、株主様はもちろんのこと、役員・スタッフからも感染者を一人も出さないと強い思いで総会進行を見直し、サーモグラフィーによる体温測定や受付へのアクリルパネルの設置、株主様の座席間隔を大きく取るなど、従来は実施しない様々な施策をおこないました。

総会当日は約40名の株主様にご出席いただき、熱心に報告事項をお聞きいただきました。



株主総会

受付前の体温測定

ご意見、ご要望を経営に活かすための取り組み

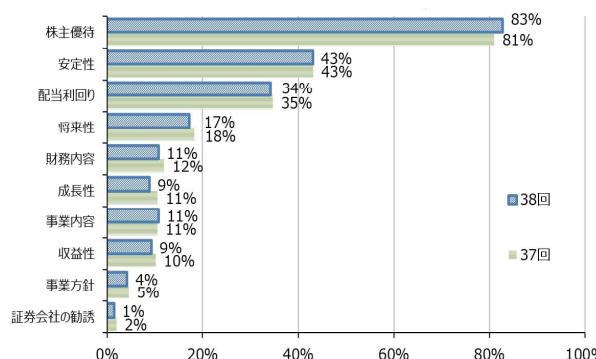
株主様・投資家の皆様のご意見をお聞かせいただき、経営に活かしていくために、「株主様アンケート」を定期的に実施しております。1999年度から開始し、2020年度までに38回に亘って実施しております。

2020年12月に実施いたしましたアンケートでは、2,673名の方々からご回答をいただきました。

■当社株式購入理由（複数回答）

総数に占める割合比較（対前回）

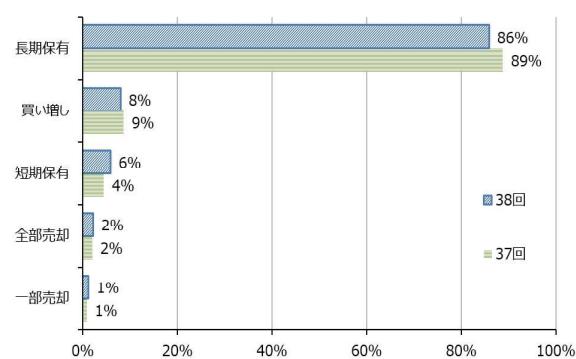
算式：投票数 / 回収数で求められた比率



■当社株式保有方針（複数回答）

総数に占める割合比較（対前回）

算式：投票数 / 回収数で求められた比率



(2020年12月 [第38回] アンケート結果より)



目標 3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

ターゲット：2020 年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。(※2020 年以降も継続して本ターゲットを追求する)



目標 4：すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

ターゲット：2030 年までに、全ての人々が男女の区別なく、安価で質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。



目標 11：包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

ターゲット：2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

ターゲット：2030 年までに、女性、子供、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。

基本的な考え方

私たちは、地域社会に貢献する良き企業市民たることを目指し、安心・安全へのお役立ちで、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

地域社会の一員として

交通事故撲滅に向けた安全活動

当社グループは車社会に携わる一員として、東海ラジオ放送による「愛知県警察のセーフティ メッセージ」の提供や交通安全イベントへの協賛などにより、交通事故撲滅に向けた活動に積極的に取り組んでおります。

創業 140 周年 記念協賛

創業 140 周年を記念しまして、「交通事故の撲滅」「安心・安全な地域社会づくり」にわずかでも貢献したいという願いから、記念協賛を実施させていただきました。

交通安全・防犯資機材



交通安全広報車（ミニ白バイ）



シンボルマスコット（着ぐるみ）



交通安全プレート



自転車用ワイヤーロック 他

これからも、交通安全推進活動に積極的に取り組むと共に、地域社会発展の願いを込めた様々な貢献活動に取り組んでまいります。

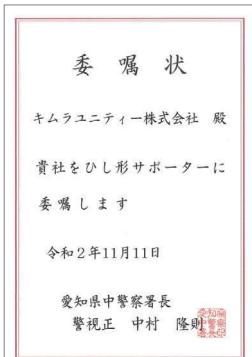
交通事故ゼロを目指して

「ひし形サポーター」委嘱

愛知県中警察署より「ひし形サポーター」の委嘱をいただきました。

この「ひし形サポーター」とは、“横断歩道の手前にあるひし形マークを見たらアクセルから足を離そう！”というもので、交通事故撲滅に向けた中警察署交通課が推進する活動です。

当社グループにおきましても、この活動に積極的に取り組み、交通事故ゼロを目指してまいります。





目標 6：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

ターゲット：2030 年までに、汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用を世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。



目標 7：すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

ターゲット：2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的のアクセスを確保する。

ターゲット：2030 年までに、世界のエネルギー・ミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。



目標 12：持続可能な生産消費形態を確保する

ターゲット：2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。(※2020 年以降も継続して本ターゲットを追求する)

ターゲット：2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

ターゲット：特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。



目標 13：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

ターゲット：全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

ターゲット：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

環境理念

キムラユニティーグループは、次代に地球環境をより良き状態で引き継ぐため、事業活動や提供するサービス・製品・商品が地球全体の環境に、できる限り負荷を与えないよう最大限の努力をします。

環境に配慮した事業活動

環境マネジメントの取り組み



世界規模で地球環境保護に高い関心が集まり、CO₂ の削減や資源の有効利用など、環境に配慮した事業活動が幅広く求められています。環境対策が企業の社会的価値につながる現代、当社は豊田工場と刈谷営業所で ISO14001（環境マネジメントシステム）の継続的な維持運用に努めると共に、環境保全活動の全社展開を図っております。

ISO14001 取得事業所	取得年月日	有効期限	登録番号
豊田工場	2003 年 8 月 21 日	2021 年 8 月 20 日	JUSE-GE-117
刈谷営業	2005 年 9 月 29 日	2023 年 9 月 28 日	JUSE-GE-244

事業所内における環境への取り組み

太陽光発電設備の導入



事業活動にともなう環境負荷を軽減するため、工場や倉庫、店舗の屋根などの保有資産を有効活用した、「太陽光発電設備」の導入に取り組んでおります。

上丘物流倉庫、犬山工場、稻沢工場、名古屋北営業所の 4 つの施設で太陽光発電を進めております。これからも自然環境にやさしい「再生可能エネルギー」の普及促進に努め、企業の社会的責任として環境保全活動を積極的に推進してまいります。



上丘物流倉庫



犬山工場



稻沢工場



名古屋北営業所

※本設備の発電電力につきましては、その環境価値を第三者に移転しております

環境に配慮した事業活動

事業所内における環境への取り組み

環境に配慮した包装サービス



包装サービス部門では、お客様へ環境に配慮した包装仕様をご提供するための改善に取り組んでおります。

包装仕様の改善の考え方は、「包装材の廃止・スリム化」「リユース・リサイクル」「環境負荷の低い素材の使用」などに関する評価項目を考慮することで、これをもとに具体的な改善提案を行っています。

■改善例：梱包資材の見直し（梱包仕様と資材の変更）

【現状】

仕切材とパットを使用した部品横置きの梱包仕様、ポリシートによる包装あり。



【改善案】

段ボールの部品受けを使用した部品縦置きの梱包仕様に変更することで、パットの使用やポリシートによる包装の無駄を削減する。



【効果】

- ・内装梱包費の低減
- ・現地での梱包・包装材廃棄時における環境負荷の軽減（廃棄量の削減）

環境保全活動への取り組み

事業活動による温暖化への影響を最小化するために、エネルギー使用量の削減に取り組んでおります。

省エネ法に基づく 2020 年度のエネルギー使用量

電気 6,607,240 kwh

ガス 174 t (LPG 換算による)

ガソリン・軽油・灯油 9,806 ℥

CO₂ 排出量



3,361 t-CO₂

省エネ設備や機器への代替などの省エネ活動を更に推進し、CO₂ 排出量の削減に取り組んでまいります。

◇CO₂ 排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく調整後の公表値を使用しております。

(単位: t-CO₂) CO₂ 排出量(調整値)



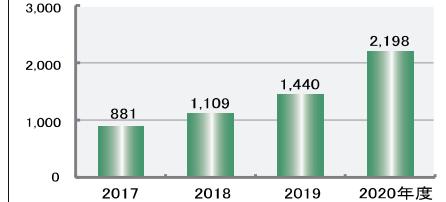
産業廃棄物排出量



2,198 t

拠点拡充により全体的な産業廃棄物排出量が増加しておりますが、木製パレットや金属くず等のリサイクルやリユースを更に推進し、今後も産業廃棄物の排出量削減に取り組んでまいります。

(単位: t) 産業廃棄物排出量



◇省エネ法が定める「工場等」（工場または事務所、その他事業場を設置して事業を行う者）を対象事業分野としております。

尚、「輸送」につきましては、事業分野の対象外となります。

◇2008 年の法改正により、事業者全体（本社・工場・支店・営業所・店舗等）にて使用するエネルギー（電気・熱・燃料）を管理の対象としておりますが、営業用車両など当社事業所外にて使用されたエネルギー（※1）は、上記報告範囲ではないため含んでおりません。ただし、当社事業所外にて使用されたエネルギーにつきましても厳格に管理しております。

上記（※1）に示す「当社事業所外にて使用されたエネルギー」 ガソリン・軽油 323,707 ℥